

「安心」を支える消防をめざして

たんごの風



vo l.15



11月13日(水)に、峰山町の五箇保育所で、避難訓練などの消防訓練と防火教室を行いました。防火紙芝居や腹話術、防火衣を着てみたりする中でみんなが火の用心を約束してくれました。

特集... **観光客の防災意識** アンケート調査
応急手当の豆知識
救急一口メモ

火災・救急・救助は

119

(携帯電話も同じです)

観光客の防火意識

問われる観光地の安全対策

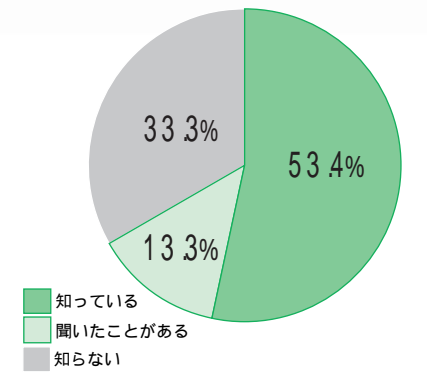
アンケート調査

アンケート対象 75人	
20代	23%
30代	13%
40代	19%
50代	24%
60代	15%
70代	6%

網野町、丹後町、久美浜町を訪れた観光客に「適マークを知っていますか」など5問のアンケート調査を行い、10月19日、20日の二日間で75人の方から回答を得ることができました。

私たち丹後地方の人間にとって旅はするもの、迎えるものです。観光客の防災意識を聞くことで、旅を安心して過ごすためには何が求められているかを考えていただこうと特集しました。

Q1、適マークを知っていますか



知られている適マーク

適マークを知っていますか。という質問に「知っている」と答えた人が5割強、聞いたことがある」を含めると実に約7割の人が知っているということになります。「知らない」と答えた人でも、適マークを見せると、何か見たことがある」といった答えもあり、ほとんどの旅行者が知っているということになります。この結果から見ると、旅行者が防火に対して高い関心を持っているといえます。また、適マークのあるホテルにしか宿泊しないという人もいました。

Q2、旅館・ホテルを選ぶ基準

料理	34.9%
料金	31.2%
サービス	12.8%
安全体制	9.3%
旅行会社に任せる	11.8%

選ぶ基準は安全

旅館・ホテルを選ぶときの基準は、なんですか。という質問に「料理」「料金」が各3割、「サービス」が1割、「旅行会社に任せる」が1割、安全体制」が1割にも満たない結果となりました。

「料理」「料金」は、美味しくて安いところを選ぶのが本音であり、また、「サービス」も当たり前のことだという意見が多くありました。「安全体制」は、あまり重要視されていないように結果からは見えるのですが、アンケートを取る中で「安全体制」はできていて当たり前という意見が多く、やはり、選ぶ基準は「料理」

適マークとは



安心の証です

適マークとは

消防法では、一定規模以上の事業所（3階建以上の集会所・店舗・ホテル・旅館など大勢の人が利用する建物）に防火安全性を高めるため「防火基準適合表示制度」を定めています。いわゆるこれが「適マーク」です。

防火管理、消防用設備、建築構造などの点検項目にすべてクリアした事業所に対し消防のマークをデザインしたプレートを交付します。

このマークは、利用者からよく見える玄関やフロントに掲示してありますが、一定規模を超えていない事業所でも日頃の消防設備の点検、従業員の消防訓練など、利用者みなさんに安心していただけるよう日々努力されています。

「料金」がほとんどになりました。

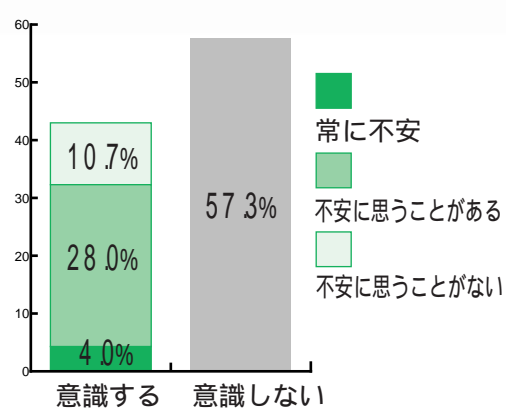
この結果から考えていただきたいのは「安全体制はできていて当然だ」ということを踏まえての選択だということです。安全があつての旅館・ホテルであり、楽しい旅行が出来るとおもいます。

旅先での災害意識

観光客の方が、旅先で病気や災害に対して、どのくらい関心があるのか。災害意識について聞いたところ、「意識する」と答えた人が約4割、「意識しない」と答えた人が約6割という結果でした。

過半数以上を占めた「意識しない」と答えた人のほとんどは、「旅先で病気や災害のことを考えると、おもしろくない、楽しめない」ということでした。やはり、旅先では病気や災害などの関心より、日頃の生活を離れ、のんびり温泉につ

Q3、旅先で病気や災害を考えますか



か。美味しい物を食べる」といった旅の目的意識が高いことが感じられ、観光客一人一人の旅への思いが、力強く伝わってきました。

このことは観光客の旅先での災害意識が一見、低いようにも感じられますが、観光客にとっては、旅先での安心・安全を信頼したうえで、結果なのかもしれません。

観光客のニーズ

Q4、旅館・ホテルに到着後、特に注意することは何ですか

適マークを確認する	6.3%
非常口・避難経路の確認をする	54.5%
防災のしおりを読む	6.3%
非常連絡先を確認する	8.8%
非常用懐中電灯を確認する	5.4%
寝タバコをしない	10.7%
特に考えない	8.0%

防災面において旅館・ホテルに到着後、特に注意することは何ですか。という質問をしたところ、「非常口・避難経路を確認する」と答えた人が約6割、「防災のしおりを読み、非常連絡先や非常用懐中電灯を確認する」と答えた人が2割という結果になりました。

過半数以上をしめた「非常口・避難経路を確認する」と答えた人の意見を聞くと、「避難するときに誘導がなかったら困る」「宿に着いたときに、非常口などの説明がなかったから自分で確認した」という人もおられ、また、火の用心を心掛けて「寝タバコは絶対にしない」という人もおり、約9割の人が万が一の時に備えて「自分で何か出来ることはないか」といった、自己防衛意識を持っていることがわかりました。

このことから、防災面についてはなにもなくても旅館・ホテル側の的確ですばい避難誘導が期待されていることがわかります。

適マーク交付率

全国	71.4%
丹後	56.3%

丹後で30年以上旅行代理店をされている方からお話を聞きました。



私達は丹後から全国の観光地へお客様をご案内するのが仕事ですが、泊まっていたく宿は政府登録や日観連などに登録されている宿です。

これらの宿には消防署から認められた証の「適マーク」が必ずあります。

この事から私達がお勧めする宿では、日々、消防訓練などをされ、万が一の時の安全体制が出来ていることは当然であると考えています。

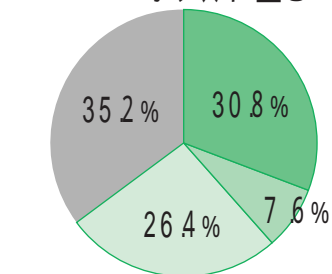
その中でも良い宿と、そうでない宿とを見分ける方法としては、廊下や階段に物が置かれていないか、誘導灯などがきちんとついているか、女中さんなど従業員への防災教育が徹底されているかなどでおおよそわかります。

防災に取り組むのは大変ですが、「安全」は当然のものとして、来ておられるお客様のためにも頑張っていたきたいものです。

当然であるべき安全

旅館・ホテルの安全面について望むことはありますか。という質問をしたところ、特になし(安全で当然)と答えた人が約4割、「確実な避難誘導」と答えた人が約3割、「消防設備の完備」と答えた人が約2割、「定期的な消防訓練」と答えた人が約1割という結果になりました。

Q5、万が一のとき旅館・ホテルに望むことは



■ 確実な避難誘導 ■ 消防設備の完備 ■ 定期的な消防訓練 ■ 特になし(安全で当然)

だといえ、このことから適マークの有無に関係なく、「安全」という目には見えないものに対して、多くの観光客が当然だと考え、また、そうであってほしいと望んでいます。この信頼を裏切っていないか。旅館・ホテルが応えなければならぬ、大切な問題だといえます。

信頼と信頼が結ぶ旅の安全



経ヶ岬の駐車場にて

「おいしいきれいですよね 丹後」 丹後のイメージで聞かれた言葉です。そして、「心配はしていません。信頼しています」もし災害などに遭遇したらなど不安に思うことはありませんか。との質問に返ってきた言葉です。

今回の調査で観光にくる人はその土地の安全を信頼していると強く感じました。この信頼にこたえるために何が求められているかを考えると、防災設備の充実はもちろんのこと、やはり人が与える安心信頼がもっとも大切だといえます。

一人一人が安全への努力をし、安心して旅ができる環境。そして、町づくりが必要なのではないのでしょうか。また、このアンケート結果からも、旅をする時には安全にもっと注意を払い、安心して旅ができるように、防災の意識を持っていくこともたのしい旅には大切なことです。

まだまだかな。伊豆によく行くけどそんな感じがします。(関東在住 50代男性) 適マーク知っていますよ。私は適マークあるところにしか泊まりません。(50代男性) きれい。カニ大好きです。(20代女性) カニばかりでみやげ物店が駅の近くにないのが不便ですね。(50代女性) 災害? 気にしませんよ、旅館きれいですしね。(40代女性) 景色きれいです。のどかな感じがします。(60代女性) のんびりしている感じがします。そしてのんびりしています。(60代男性) さわやか。また来たいです。(20代男性) 丹後大好きです。よく来ます。(50代女性) みんな親切ですね。特に女将さんがいい。(40代男性) 丹後のイメージ。天の橋立。(60代男性)

アンケート中にお聞きした 丹後のイメージなどの話

交付事業所

- 丹後町: 吉野家 丹後療育センター お宿 炭平 はしうど荘 とと屋 宿房漁火温泉 漁火亭 宇川診療所
大宮町: 健康センター丹後おおみや 特別養護老人ホームおおみや苑
網野町: シーサイド一望館(南館) シーサイド一望館(北館) ホテル 糸びすや 旅館 静 本陣粹月(遊心館サライ) 旅館 夕日ヶ浦 株式会社旭観光開発 千松 旅館 琴海 みのり旅館別館 佳松苑 旅館 海舟 旅館 新海荘 かに天国 シーレイク浜沼月 旅館 浜舟 海花亭 紫峰閣 旅館 友善別館 旅館 琴引浜海岸 日本海 株式会社 ジュンテンドー・網野店
久美浜町: 久美の浜 シルバーハウス 旅館 浜の路 碧翠御苑 小天橋 へきすい苑 民宿 菊水 旅館 松月 古古屋 シーサイド西中 みなと荘 民宿 あさひ 坂本屋旅館 宿 たかうら ホテルリゾーピア久美浜 ホテル 日本海 潮音の宿 清平

応急手当の豆知識

鼻出血



すこしの不注意から起こってしまう事故。そんな時少しでもその状態を和らげる、もしくはそれ以上悪化させないためにその場の適切な応急手当が必要です。

体を起こした状態で鼻の下の部分をつまみ、鼻の奥に向かって10分位圧迫します。(止血中は口で呼吸するようにして、のどに流れ込む血液があれば吐き出してください)

額から鼻を冷たいタオルで冷やすと血管が収縮して止血に効果的です。

首の後ろをたたくと鼻血が止まるというのは迷信です。



やけど

患部を流水で20分以上冷やします。(顔など流水で冷やせない場合は濡れタオルを使い何回も冷やす)

服の上から熱い液体をかぶった場合は、服の上から冷水をかけ、患部以外の服などを切ったりした上で水にぬらした布で覆うようにして救急車を呼んでください。

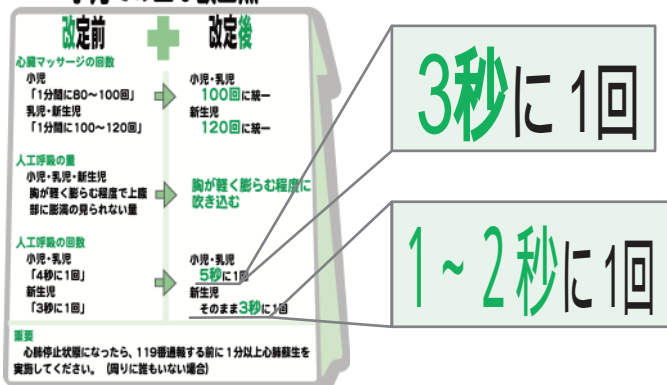
樹液や油を塗ったり水ぶくれを針でつぶしたりすることは感染の恐れがあるのでしないで下さい。

前号の訂正

前号で取り上げた「心肺蘇生法(CPR)がわかりやすく・簡単に」の記事の中で、小児の主な改正点として人工呼吸の回数が誤っておりました。

正しくは小児・乳児の人工呼吸の回数は3秒に1回、新生児は1~2秒に1回です。万が一の時の救命法ですので、消防署が行っている普通救命講習会などに参加していただき、正しく学んでください。

小児での主な改正点



急性アルコール中毒



救急救命士 坂井 和正



丹後にこられたお客さん、特に学生方等の集まりで、イッキ飲み等から急性アルコール中毒で、救急車を呼ばれる方が多くなる時期です。

急性アルコール中毒(慢性アルコール中毒と区別します)は、アルコール飲料を無理やり飲まされたり、自らの過信によって大量摂取したことによる原因が多いです。

お酒を飲むと「ほろ酔い期」~「めいてい期」~「泥酔期」と酔いの症状が変わってきます。しかし、個人差や体調による違いもありますが、大量のアルコールを一時に摂ると血中のアルコール濃度が急激に上昇し、一気に泥酔から昏睡状態になります。吐いたものがノドにつまって窒息や脳幹部というところが麻痺して昏睡、呼吸停止、心臓機能低下から死にいたることもあります。

注意することは、空腹時はさける自分の意志でのむ。他人には強要しない ゆっくり自分のペースで飲む。

がぶ飲みや一気に飲むは急性アルコール中毒になる危険性が高くなります。自分のペースで飲めば、体が危険サインを出してくれます。ゆっくり自分のペースで飲むことが大切です。

おわりに、飲酒後の症状をなにもかもアルコールのせいにはいきません。他の病気がケガが潜んでいる場合がありますので注意してください。



10/17

命の大切さを学ぼう (弥栄中学校 救命講習)



10/25

救急車の中ってどうなってるの (網野町女性消防団 庁舎見学)

みんなで体験
いろいろな訓練



10/4

久美浜分署まで遠足に来たよ (久美浜保育所)



11/17

あわてないで火元を目指して (峰山町防災訓練)



10/2

消防署の見学と煙の怖さを体験 (丹、竹野小学校)

命を救ったバイスタンダーに感謝状



左から吉岡勇さん、室野敏範さん、東克美さん、沖田和之さん、藤原教行さん

11月1日(金)に網野町字下岡の新庄口踏切付近で、女性が運転する軽自動車が新庄川に転落。それを見た5名の勇気ある方々が協力して水中から引き揚げ救命されました。

その女性は2分間ほど水没していたので、引き揚げたときには呼吸をしていませんでしたが、すばやく救助し呼びかけと刺激を与えたところ、自発呼吸が再開しました。

その功績をたたえて、消防署から感謝状を贈りました。



久美浜まるかじり祭り

11/10

人形使って練習してみましょう



アトキヤチ

網野じゃんじゃん祭り

11/10



消火器の訓練でクマさんが特別参加

秋の火災予防運動で
さまざまな行事に参加しました



大宮町産業祭

11/15

お父さん・お母さんと一緒にポーズ



お父さんのいうこと聞いてじっとして

11/3

消ちゃんと約束したよ



火遊びは絶対しません (峰、丹波保育所)

保育所で防火教室

11/14



煙の中はハンカチで鼻と口を押さえてね (峰、吉原保育所)

場 広 の 防 消

第8回 防火ポスターコンクール

特 選



今年も丹後6町から、小学校4年生を対象に防火図画を募集したところ、501点もの作品が応募されました。どの作品も力作ぞろいでした。審査も大変苦労しました。

審査を終えて

審査委員長 図画有識者

竹本 毅さん

今回の作品はアイデア・着眼点がよく、興味深いものばかりでした。その中でも特選作品は防火の訴えが良く伝わり、色使いもきれいに仕上がった見事な作品でした。

入 選

吉原小学校

松下 理子さん

峰山小学校

中地 佑果さん

大宮第二小学校

田村 芽依さん

佳 作

鳥取小学校

今井美奈子さん

大宮第一小学校

田中 嶺登くん

大宮第二小学校

森岡 未帆さん

溝谷小学校

牧野 倫明くん

久美浜小学校

岡田 翔太くん

海部小学校

大西 舞さん



特選者の紹介

豊栄小学校 (丹後町)

4年 蒲田 千尋さん

学校からの帰りに車からのタバコのポイ捨てを見て思いつきました。

消防版 去年のとりくみ

消防署での昨年一年間の主な取り組みです。今年も「安心」を支える消防を目指していきます。

春 夏

- 春季火災予防運動
- 林野火災予防運動
- 礼式訓練
- 署内救助選抜会
- 地水利調査
- 危険物安全週間
- 夏火災予防運動
- スキューバ隊訓練

秋 冬

- 救急訓練
- 職員体力測定
- 火災想定訓練
- 3町産業祭参加
- 救助資器材活用想定訓練
- 年末特別火災予防運動
- 各町消防団出初式
- 文化財防火運動



広報車を更新しました



消防署の発足以来、多くの災害現場に出動し続けてきた本署広報車を更新しました。12月から、峰山消防署で災害や火災予防に活躍しています。

編集後記

昨年冬に発行した38(サンパチ)豪雪特集号を第5回全国消防広報コンクールに応募したところ、入選の連絡を総務省消防庁からいただきました。思ってもみなかったことなので大いに驚き、光栄なことだと委員みんな、静かに感激をかみしめています。編集技術もまだまだなのですが、発行のたびに住民の皆さんから届くご意見が奮奮と励みになり、今回の結果につながったと思います。ありがとうございました。

ご用の際はこちらまで

峰山消防署・本部(代表) 62-0119 予防課 [設備指導] 62-5119 本部総務課 [庶務・人事] 62-8119 本部管理課 [企画・管理] 62-8129